

福岡学園広報誌

NewSophia

ニューソフィア

福岡学園は「口腔医学」を推進しています。

118号
[VOL.31-②]
May 2023



福岡歯科大学・福岡看護大学・福岡医療短期大学

卒業式・修了式を挙行／入学式を挙行

目次 Contents

《Featuring News》—注目のニュース—

- 1・2 ◆ 泉湧くところ
- 3～5 ◆ 学校法人福岡学園第四次中期構想
- 6 ◆ 福岡歯科大学 卒業式・大学院修了式
- 7 ◆ 福岡看護大学 卒業式・大学院修了式
- 8 ◆ 福岡医療短期大学 卒業式・専攻科修了式
- 9・10 ◆ 福岡歯科大学・福岡看護大学・福岡医療短期大学 新入生が入学
- 11 ◆ 福岡歯科大学 口腔医療センターが移転
◆ 医科歯科総合病院に呼吸器・循環器内科を開設
- 12 ◆ 福岡歯科大学、福岡看護大学 教員組織を改組
◆ 福岡医療短期大学入学者選抜 特別奨学生制度を新設
◆ 福岡歯科大学 公開講座を開催
◆ 福岡看護大学 公開講座を開催

《Campus News》—学園の話題—

- 13 ◆ 各種国家試験結果
◆ 福岡歯科大学登院式・福岡医療短期大学登院式

《People》—学園の「ひと」—

- 14 ◆ 福岡看護大学長に橋木晶子氏が就任
◆ 窪田恵子氏が福岡看護大学長退任
◆ 福岡医療短期大学長に田口智章氏を再任
◆ 福岡歯科大学 新役職教員決定
- 15 ◆ 福岡看護大学 新役職教員等決定
◆ 医科歯科総合病院 副病院長決定
◆ 福岡医療短期大学 歯科衛生学科長決定
◆ 学校法人福岡学園 新役員紹介
◆ 学校法人福岡学園 新評議員紹介
- 16 ◆ 教員紹介
- 17 ◆ 客員教員・臨床教員紹介
◆ 定年を迎えて
◆ 田代 英雄元理事がご逝去

《Events》—学園行事レポート—

- 18 ◆ 医科歯科総合病院の看護部において、
臨床看護研究コース(基礎編)中間発表会を開催しました

《Affluent Voices》—みんなの声—

- 21 ◆ 看護大学だより
◆ 短大Voices
- 22 ◆ 学生からのメッセージ(石井 凛々香・福岡看護大学 第3学年)
◆ 保護者からのメッセージ(岡田 正明・保護者(福岡歯科大学))
◆ コラム
◆ 編集後記

《Information》—お知らせ—

- 裏表紙 ◆ オープンキャンパス開催のお知らせ(福岡歯科大学・福岡看護大学・福岡医療短期大学)
◆ 「学校法人福岡学園・福岡歯科大学創立50周年記念募金」実績報告

《表紙写真》卒業式・修了式ならびに入学式の様子

看護職を目指す

初学者の可能性を信じて

福岡看護大学 基礎・基礎看護部門長 青木 久恵

福岡看護大学は、この春、開学7年目を迎えます。新型コロナウイルス感染症対策の影響で、病院実習は今も尚、時間的制約の中で患者さんと関わる難しさがあります。大学内でも感染防止が優先され、その弊害として、学生は長期に渡り仲間との楽しいランチタイムが奪われ、不安や孤独感にも耐えています。教職員は学生の不安や孤独感を緩和するために、Zoomや電話で温かく励まし、学生間交流を企画するなど、人との関わりで心を癒せるよう努力してきました。

学生は、二人ひとりの背景が異なっており、多様な価値観を持っています。そのため、教員の関わりに対する受取り方も様々で、すれ違うことも少なくありません。ましてや初学者である学生が患者さんに関わるには、ハードルが高く、うまくいかなくてもそれを乗り越える力が必要です。そこで、病院実習前には学生間の協同学修を採用し、わからない時はわからないと伝えよう！相談しながら乗り越える勇気を持つとう！を合言葉に、つまずきながらも、個人やグループは成長し、病院実習に挑んでいます。病院実習では、緊張した面持ちで患者さんや

実習指導者に話しかけている姿、患者さんがうまく歩けたと笑顔で報告する達成感に満ち溢れた真剣な姿に、一歩乗り越えた学生の成長に喜びを感じています。

このように、学生には自身が気づいていないたくさんの可能性があるため、その価値に気づき、チャレンジしていく勇気を持つてほしいと願っています。

今後も、教職員が丸となつて、学生がチャレンジできる教育環境をつくっていききたいと思っています。どうぞ、ご支援を賜りますようお願い申し上げます。

学校法人福岡学園第四次中期構想

学校法人福岡学園の第四次中期構想が、令和5年3月20日に開催された第178回評議員会にて承認され、第587回理事会にて可決されました。

第四次中期構想は、「教育の質の向上」、「研究の質の向上」、「学生の受け入れ・支援」、「社会との連携・貢献」、「組織運営」、「財務・施設整備」の6つの項目を柱とし、それぞれに具体的目標を掲げています。

期間は2023年（令和5年）4月1日から2031年（令和13年）3月31日までの8年間とし、定期的に進捗状況を確認するとともに、4年後を目途に、必要に応じて見直しを行うこととしています。

法人

法人ビジョン

安定した財政基盤を構築し、学生ファーストの学修環境を整備するとともに、最先端の医療・福祉サービスの提供により地域社会に貢献する。

組織運営

- 1 国の方針に則り、ガバナンスの強化を推進する。
 - ・本学園にふさわしい理事会・評議員会の組織体制等を再評価し、運営の透明化を図る。
- 2 教員組織及び事務組織の再編並びに業務の見直しを検討する。
 - ・教職員の心身の健康の保持を目指した労働環境の整備・改善を図る。
 - ・性差に配慮した教職員の配置に努める。
 - ・組織力を高めるために、人材育成に努める。
 - ・事務分掌を見直し、各課業務を整理する。
- 3 財政基盤の安定化を図る。
 - ・本学園が永続的に維持・発展し、安定した財政基盤を確立するため、借入返済金を除き、資金収支の均衡を図る。
 - ・外部資金（補助金・寄付金等）の獲得及び資産運用による安定的な収入を確保する。
- 2 学園内のランドデザインを策定し、新キャンパス整備計画を促進する。

- ・教職員の心身の健康の保持を目指した労働環境の整備・改善を図る。
 - ・教員の流動的 personnel 管理を推進する。
 - ・性差に配慮した教職員の配置に努める。
 - ・組織力を高めるために、人材育成に努める。
- 3 評価の方向性や各評価団体の動向に注視しつつ、第3者評価を受ける。
 - ・大学基準協会による認証評価結果を踏まえて、各委員会の役割を明確にして内部質保証を推進する。
 - ・2027年度（令和9年度）に大学基準協会認証評価を受審し適合判定を得る。
 - ・歯学教育認証評価（分野別認証制度）の受審に向けた準備を進める。

財務・施設整備

- 1 財政基盤の安定化を図る。
 - ・収支改善を図る。

福岡看護大学

教育の質の向上

- 1 口腔医学教育を実践する。
 - ・学修成果の評価の方針（アセスメント・ポリシー）等に基づく内部質保証活動を実践する。
 - ・多職種連携に関する学生の意識向上を目指した3大学共同の口腔医学教育について検討する。
 - ・口腔ケア看護教育モデルの充実を図り、口腔から全身の健康支援ができる教育課程について検討する。
- 2 教養と良識を兼ね備えた有能な医療人を育成する。
 - ・豊かな人間性と倫理観を備え、多職種と連携しながらwell-beingを目指した教育課程の編成と定期的な点検・見直しを推進する。
 - ・学修成果の向上を目指し、教育教材のデジタル化及び教育支援システムの導入について検討する。
 - ・多職種連携教育を推進する。
- 3 国家試験への取り組みを強化する。
 - ・国家試験受験者全員合格を目指す。

- ・学生の学修環境充実を最優先事項とし、多様化するニーズに対応できる先進的な建物・設備を構築する。
- ・安心・安全で、省エネルギーに配慮した環境を整備する。

福岡歯科大学

教育の質の向上

- 1 口腔医学教育を実践する。
 - ・学修成果の評価の方針（アセスメント・ポリシー）等に基づく内部質保証活動を実践する。
 - ・多職種連携に関する学生の意識向上を目指した3大学共同の口腔医学教育について検討する。
 - ・診療参加型臨床実習の充実により口腔医学教育を実践する。
- 2 教養と良識を兼ね備えた有能な医療人を育成する。
 - ・医療人として必要なプロフェッショナルリズム・コミュニケーション能力を育成する。
- 3 国家試験への取り組みを強化する。
 - ・学生の学力到達度を把握し、フィードバックの充実を図る。
 - ・学生の自主学修を促進させる。

研究の質の向上

- 1 口腔医学を基盤とする研究を促進する。
 - ・口腔医学を基盤とした保健・医療・福祉に関する研究の視点を踏まえ、他大学との共同研究を推進する。
- 2 全学的独自色（研究ブランド）を構築し、研究を活性化させる。
 - ・本学の教育理念を踏まえ、well-being・多職種連携・在宅療養に関する研究を活性化する。
- 3 研究倫理、不正防止の徹底を図り、健全な研究活動を推進する。
 - ・適正な研究活動及び執行を行うため、研究に関与する教職員の不正防止意識の向上を図る。

学生の受け入れ・支援

- 1 教育現場を活性化させるため、定員を確保する。
 - ・魅力ある大学のブランド化を図る。
- 2 学生募集のための新たな広報手段を拡充する。
 - ・大学の強みや魅力を最大限に伝えられる広報戦略について検討する。
 - ・紙媒体での広報活動から、Web媒体での広報活動への移行について検討する。
- 3 学生の支援体制を整備する。
 - ・多様な学生に対応できる修学支援体制を整備する。

社会との連携・貢献

- 1 社会との連携を強化し、社会貢献を推進する。
 - ・自治体や医療・保健・介護・福祉等の職能団体との連携による社会貢献活動を推進する。
- 2 国際性豊かな人材を育成するために、国際連携を積極的に推進する。
 - ・海外協定校との国際交流を推進するとともに、新しい協定校を開拓する。

組織運営

- 1 国の方針に則り、ガバナンスの強化を推進する。
 - ・学長のリーダーシップのもと、教育研究活動の不断の見直しを行う。
- 2 教員組織及び事務組織の再編並びに業務の見直しを検討する。

- 2 全学的独自色（研究ブランド）を構築し、研究を活性化させる。
 - ・学園のブランドである「口腔医学」に立脚した歯学研究を推進する。

- 3 研究倫理、不正防止の徹底を図り、健全な研究活動を推進する。
 - ・適正な研究活動及び執行を行うため、研究に関与する教職員の不正防止意識の向上を図る。

学生の受け入れ・支援

- 1 教育現場を活性化させるため、定員を確保する。
 - ・厳格かつ適正な選抜試験を実施する。
 - ・多様化する受験生ニーズに対応した選抜方法の改革を行う。

- 2 学生募集のための新たな広報手段を拡充する。
 - ・大学の強みや魅力を最大限に伝えられる広報戦略について検討する。
 - ・紙媒体での広報活動から、Web媒体での広報活動への移行について検討する。

- 3 学生の支援体制を整備する。
 - ・多様な学生に対応できる修学支援体制を整備する。

社会との連携・貢献

- 1 社会との連携を強化し、社会貢献を推進する。
 - ・自治体や医療・保健・介護・福祉等の職能団体との連携による社会貢献活動を推進する。
 - ・西部地区五大学、七隈線沿線三大学等の大学間連携による地域貢献活動を推進する。
- 2 国際性豊かな人材を育成するために、国際連携を積極的に推進する。
 - ・姉妹校や他の海外の大学との教育・研究連携を積極的に展開する。

組織運営

- 1 国の方針に則り、ガバナンスの強化を推進する。
 - ・学長のリーダーシップのもと、教育研究活動の不断の見直しを行う。
- 2 教員組織及び事務組織の再編並びに業務の見直しを検討する。

- ・教職員の心身の健康の保持を目指した労働環境の整備・改善を図る。
 - ・教員の流動的 personnel 管理を推進する。
 - ・性差に配慮した教職員の配置に努める。
 - ・組織力を高めるために、人材育成に努める。
- 3 評価の方向性や各評価団体の動向に注視しつつ、第3者評価を受ける。
 - ・大学基準協会による認証評価結果を踏まえて、各委員会の役割を明確にして内部質保証を推進する。
 - ・2029年度（令和11年度）に大学基準協会認証評価を受審し適合判定を得る。

財務・施設整備

- 1 財政基盤の安定化を図る。
 - ・収支改善を図る。

福岡医療短期大学

教育の質の向上

- 1 口腔医学教育を実践する。
 - ・学修成果の評価の方針（アセスメント・ポリシー）等に基づく内部質保証活動を実践する。
 - ・多職種連携に関する学生の意識向上を目指した3大学共同の口腔医学教育について検討する。
 - ・超高齢社会に対応でき、指導的役割を果たす歯科衛生士の育成に努める。
- 2 教養と良識を兼ね備えた有能な医療人を育成する。
 - ・教育目的・目標を踏まえた学修成果の明確化を図る。
 - ・3つのポリシーの更なる一体化を図る。
 - ・教員の教育力向上に努める。
- 3 国家試験への取り組みを強化する。
 - ・国家試験受験者全員合格を目指す。
- 4 短大の4年制化を検討する。
 - ・4年制化に向けた3つのポリシー・カリキュラム作成を検討する。
 - ・4年制化に適應できる教員の育成に努める。

研究の質の向上

① 口腔医学を基盤とする研究を促進する。

- ・口腔と全身疾患の研究を推進する。

② 全学的独自色（研究ブランド）を構築し、研究を活性化させる。

- ・私立大学研究ブランディング事業の4研究部門（口腔機能管理・栄養改善・運動機能維持向上・社会資源創出）の成果をさらに発展させ、短大独自の研究ブランドとして構築する。

- ・歯科衛生士教育に関する研究を推進する。

③ 研究倫理、不正防止の徹底を図り、健全な研究活動を推進する。

- ・適正な研究活動及び執行を行うため、研究に関与する教職員の不正防止意識の向上を図る。

学生の受け入れ・支援

① 教育現場を活性化させるため、定員を確保する。

- ・入学者の安定的な確保のための多面的な方策について継続的に検証する。

② 学生募集のための新たな広報手段を拡充する。

- ・大学の強みや魅力を最大限に伝えられる広報戦略について検討する。

- ・紙媒体での広報活動から、Web媒体での広報活動への移行について検討する。

③ 学生の支援体制を整備する。

- ・多様な学生に対応できる修学支援体制を整備する。

社会との連携・貢献

① 国民皆歯科健診の導入に向けて学園の体制を確立する。

- ・国民皆歯科健診の実践に必要な歯科衛生士の育成及び多職種連携の基盤づくりを目指す。

② 社会との連携を強化し、社会貢献を推進する。

- ・自治体や医療・保健・介護・福祉等の職能団体との連携による社会貢献活動を推進する。

- ・時代のニーズにあった公開講座及び歯科衛生士の生涯教育に資するスキルアップ講座を推進する。

③ 国際性豊かな人材を育成するために、国際連携を積極的に推進する。

- ・海外協定校を開拓する。

- ・開発途上国等でのボランティア活動について検討する。

組織運営

① 国の方針に則り、ガバナンスの強化を推進する。

- ・学長のリーダーシップのもと、教育研究活動の不断の見直しを行う。

② 教員組織及び事務組織の再編並びに業務の見直しを検討する。

- ・教職員の心身の健康の保持を目指した労働環境の整備・改善を図る。

- ・教員の流動的・人員管理を推進する。

- ・性差に配慮した教職員の配置に努める。

- ・組織力を高めるために、人材育成に努める。

③ 評価の方向性や各評価団体の動向に注視しつつ、第3者評価を受ける。

- ・大学・短期大学基準協会による認証評価結果を踏まえて、各委員会の役割を明確にして内部質保証を推進する。

- ・2028年度（令和10年度）に大学・短期大学基準協会認証評価を受審し適合判定を得る。

財務・施設整備

① 財政基盤の安定化を図る。

- ・収支改善を図る。

福岡歯科大学医科歯科総合病院

社会との連携・貢献

① 学園設置の各施設に関して、安全で良質なサービスの提供を行う。

- ・安全・安心で高度な医療を推進し、地域の医療、健康維持に貢献する。

② 国民皆歯科健診の導入に向けて学園の体制を確立する。

- ・健診センターと歯科診療科との連携による健診受診者の受入れ態勢を整備する。

③ 社会との連携を強化し、社会貢献を推進する。

- ・地域に根ざした医療機関として、さらに病診連携の拠点

- として地域医療に貢献する。

組織運営

① 教員組織及び事務組織の再編並びに業務の見直しを検討する。

- ・教職員の心身の健康の保持を目指した労働環境の整備・改善を図る。

- ・組織力を高めるために、人材育成に努める。

② 評価の方向性や各評価団体の動向に注視しつつ、第3者評価を受ける。

- ・2023年度（令和5年度）及び2028年度（令和10年度）に病院機能評価を受審し認定を受ける。

財務・施設整備

① 財政基盤の安定化を図る。

- ・収支改善を図る。

介護老人保健施設

社会との連携・貢献

① 学園設置の各施設に関して、安全で良質なサービスの提供を行う。

- ・在宅強化型老健への移行を目指す。

- ・老健業務のスリムアップと安全かつ良質な介護サービスを両立させる。

- ・医療・保健・福祉を担う人材の育成に率先して貢献する。

② 社会との連携を強化し、社会貢献を推進する。

- ・地域に活動の場を提供する。

組織運営

① 教員組織及び事務組織の再編並びに業務の見直しを検討する。

- ・教職員の心身の健康の保持を目指した労働環境の整備・改善を図る。

- ・組織力を高めるために、人材育成に努める。

財務・施設整備

① 財政基盤の安定化を図る。

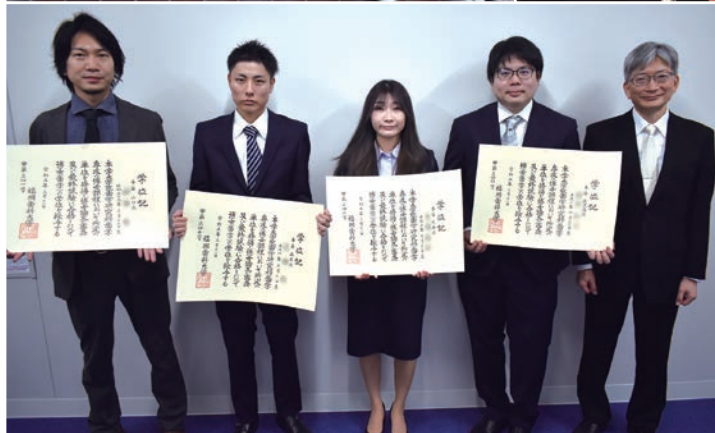
- ・収支改善を図る。

学業成績優秀者 《理事長賞》川上 真輝 《学長賞》徳重 なつみ、中村 友紀

Featuring News

1

福岡歯科大学 卒業式・大学院修了式



大学院

福岡歯科大学の第45回卒業式ならびに第35回大学院修了式が、3月11日、50周年記念講堂にて保護者を交えて執り行われました。口腔歯学部卒業生80名の代表者に卒業証書・学位記が、大学院修了生4名の代表者に博士(歯学)の学位記が高橋裕学長から授与されました。高橋学長は、卒業生・修了生の晴れの門出を祝うとともに、これからの活躍を願い、式辞を述べました。



Featuring News
2

福岡看護大学 卒業式・ 大学院修了式

福岡看護大学の第3回卒業式ならびに第1回大学院修了式が、3月9日、50周年記念講堂にて保護者を交えて執り行われました。看護学部卒業生98名の代表者に卒業証書・学位記が、大学院修了生5名の代表者に修士（看護学）の学位記が窪田恵子学長から授与されました。窪田学長は、これから各地で新たな一歩を踏み出す卒業生に向けて祝いの言葉を述べるとともに、今後の飛躍を願いました。

学業成績優秀者 《理事長賞》福留 夏葵 《学長賞》津森 真帆、小河 舞生
《学友会功労者》小河 舞生 《優秀論文発表者》鳥羽 好和



学業成績優秀者 《理事長賞》仁王頭 百々香 《学長賞》南保 紺乃、光延 弥生



福岡医療短期大学 卒業式・ 専攻科修了式

福岡医療短期大学の第25回卒業式ならびに第24回専攻科修了式が、3月10日、50周年記念講堂にて保護者を交えて執り行われました。歯科衛生学科40名の代表者に田口智章学長から卒業証書・学位記が授与されました。また、専攻科21名の代表者に修了証書が授与されたほか、独立行政法人大学改革支援・学位授与機構から授与された「学士（口腔保健学）」の学位記の伝達が行われました。次代の歯科医療を担う卒業生や修了生たちは新たな一歩を踏み出しました。

専攻科



福岡看護大学



新入生が入学

福岡歯科大学
福岡看護大学
福岡医療短期大学

令和5年度新入生

【福岡歯科大学】
口腔歯学部77名、大学院6名
【福岡看護大学】
看護学部109名、大学院5名
【福岡医療短期大学】
歯科衛生学科64名、専攻科25名

50周年記念講堂において、福岡歯科大学口腔歯学部・大学院、福岡看護大学看護学部・大学院、福岡医療短期大学歯科衛生学科・専攻科の令和5年度入学式がそれぞれ執り行われ、総勢286名の新入生が医療人としての一歩を踏み出しました。

今年は4年ぶりにコロナ禍前と同じように保護者や家族の出席も認められ、会場は多くの人で賑わいました。

式典では、希望に胸を膨らませた新入生へ各大学長から激励の言葉が贈られ、水田祥代理事長からは、この早良のキャンパスで豊かな人間性を育むとともに、日々の学問に精進し、明るい未来を目指していくようエールが贈られました。



福岡医療短期大学



福岡歯科大学

福岡歯科大学 口腔医療センターが移転

福岡歯科大学医科歯科総合病院のサテライトセンターとして博多駅前に2011年12月に開院した福岡歯科大学口腔医療センターが、入居ビルの老朽化に伴い令和5年2月末で博多駅前での診療を終了し、3月末に医科歯科総合病院内に移転しました。

口腔医療センターは、福岡歯科大学の附属施設として最新の技術と設備を備えた高度な医療を提供し、近隣歯科医院と連携することで地域医療に貢献するとともに、各種講座の開催を通じて地域の歯科医療従事者の生涯学習を行っていく拠点としての役割を担ってきました。また、福岡歯科大学の広告塔として知名度アップに貢献しました。

令和5年4月からスタッフは本院の歯科専門診療科の歯科医師・歯科衛生士として診療等に従事しています。なお、口腔医療センターに通院していた患者さんについては、福岡市営地下鉄七隈線が博多駅まで延伸し、全線開通したこともあり、医科歯科総合病院への案内を行い、引き続き診療を継続しています。



医科歯科総合病院に 呼吸器・循環器内科を開設

福岡歯科大学医科歯科総合病院では、医科と歯科の総合医療センターとして地域医療に貢献することを目指しており、更なる高度医療を提供するため、新たに呼吸器・循環器内科を開設しました。呼吸器・循環器内科では、各分野の専門医が呼吸器疾患および循環器疾患の診断と治療を行います。動悸、息切れ、倦怠感、息苦しさ、咳、血痰、喘鳴、胸部圧迫感、むくみなどの症状でお困りの場合などには、お気軽にご相談ください。紹介状は不要です。

〈対象となる主な疾患〉

呼吸器疾患

慢性閉塞性肺疾患（COPD）、喘息、間質性肺炎、急性肺炎、睡眠時無呼吸症候群など

循環器疾患

狭心症、心筋梗塞、不整脈、心不全、心筋症、弁膜症、高血圧症など

診察日時

- 呼吸器に関すること
水曜日、木曜日
午前（9時～12時）のみ
- 循環器に関すること
水曜日 午前、午後

※診察につきましては、変更になる場合がありますので、事前にご確認ください。



お問合せ 福岡歯科大学医科歯科総合病院 092-801-0411(代)

福岡歯科大学、福岡看護大学 教員組織を改組

福岡歯科大学では、低学年教育および学生指導における連携強化を図るため、社会医歯学部門ならびに基礎医歯学部門を社会・基礎医歯学部門へ統合しました。

また、福岡看護大学では、教育・研究の更なる推進、自然災害・感染症等への迅速かつ的確な対応、SDGs達成に向けた活動の推進を目的として、「教育研究推進室」、「危機管理推進室」、「SDGs推進室」を設置しました。

福岡医療短期大学入学者選抜 特別奨学生制度を新設

福岡医療短期大学では、令和6年度入学者選抜から「一般選抜特別奨学生制度」および「学校推薦型選抜指定校推薦特別奨学生制度」を新設します。

一般選抜A・B日程の受験者および学校推薦型指定校推薦受験者の希望者のうち、成績上位で合格し、入学を確約できる方が対象となります。

※選考基準等の詳細は、福岡医療短期大学事務課へお問合せください。

一般選抜特別奨学生制度（専願制）

入学金30万円免除

対象 一般選抜A・B日程の受験者

選考人数 A日程上位4名・B日程上位1名

選考基準 入学者選抜成績が特に優秀であること 等

学校推薦型選抜指定校推薦特別奨学生制度

入学金30万円免除

対象 学校推薦型選抜指定校推薦受験者

選考人数 上位5名

選考基準 「調査書」の全体の学習成績の状況 3.5以上、総欠席日数20日以内 等

福岡歯科大学 公開講座を開催

2月18日、50周年記念講堂において福岡歯科大学公開講座「医科歯科総合病院 健康講座」が開催されました。3年ぶりの開催となる公開講座は、一般の方50名が参加し、整形外科 西尾淳教授による講演と理学療法士 白川心朗主任による健康体操が行われました。



西尾 淳
(整形外科・リハビリテーション科 教授)
「あなたの骨、大丈夫ですか？」



白川 心一郎
(整形外科・リハビリテーション科 理学療法士主任)
「コロナフレイルに注意！
いきいきとした健康生活を送るために
一緒に健康体操をしましょう～」

福岡看護大学 公開講座を開催

3月19日、50周年記念講堂において福岡看護大学公開講座が開催されました。3年ぶりの開催となる公開講座は一般の方103名が参加し、福岡看護大学精神看護学分野の中島富子教授、原やよい助教、大川内鉄二助教が「心が元気であり続ける方法ーコロナにも負けない心を作るー」と題して講演しました。参加者からは「ストレスチェックで自分を見つめなおすことができました」などの声が寄せられました。



第109回 保健師国家試験

区分	受験者数 (名)	合格者数 (名)
新卒	10	10
既卒	-	-
全国	8,085	7,579

第116回 歯科医師国家試験

区分	受験者数 (名)	合格者数 (名)
新卒	80	36
既卒	111	39
全国	3,157	2,006

第32回 歯科衛生士国家試験

区分	受験者数 (名)	合格者数 (名)
新卒	40	39
既卒	4	0
全国	7,470	6,950

第112回 看護師国家試験

区分	受験者数 (名)	合格者数 (名)
新卒	98	96
既卒	2	2
全国	64,051	58,152

3月16日ならびに24日、厚生労働省より各種国家試験の合否結果が発表されました。福岡歯科大学、福岡看護大学、福岡医療短期大学における令和4年度卒業生および既卒者の合格状況は次の通りとなりました。

Campus News
1

各種国家試験結果



福岡歯科大学では、スチューデントデンティスト(Student Dentist)認定制度を導入しています。この制度は、共用試験と呼ばれる全国共通の試験に合格することによって、診療参加型臨床実習(病院での実習/第5学年で実施)において必要とされる知識、技能および態度を有している学生として、歯科大学長・歯学部長会議およびスチューデントデンティスト認定運営協議会から認定を受けるものです。今年には88名の学生がスチューデントデンティストとして医科歯科総合病院において実習に臨むこととなりました。



福岡医療短期大学では、コミュニケーション1にて令和5年度福岡医療短期大学歯科衛生学科登院式が執り行われました。3年生57名は来賓、教員が見守る中、登院に向けて「誓詞」を全員で読み上げ、臨床実習班ごとに名前を呼ばれると、緊張した面持ちで一人ひとり返事をしました。医科歯科総合病院での臨床実習開始にあたり、学生は歯科衛生士への実践的な一歩に向けて決意を新たにしました。

Campus News
2

福岡歯科大学登院式・ 福岡医療短期大学登院式

福岡看護大学長に樗木晶子氏が就任

1月26日開催の第584回理事会において、福岡看護大学の新学期に樗木晶子氏が選任されました。



（略歴）九州大学医学部医学科卒業、同大学院医学研究科修了。同大学病院循環器内科入局、米国留学、九州大学病院・助手、講師を経て、九州大学医学部保健学科・助教授の後、教授。さらにアロジェクトキャリア支援センター副センター長、九州大学総長特別補佐、九州大学医学部保健学科長を歴任。2020年4月より福岡学園客員教授、福岡歯科大学医科歯科総合病院健診センター長を務め、2021年4月には福岡看護大学副学長・研究科長に就任。

（抱負）窪田前看護大学長の任期満了を受け、4月より福岡看護大学長に就任いたしました。本学は2017年4月に新設され、引き続き2021年4月には大学院研究科修士課程も開設しました。本年3月には大学院期生の修了生も誕生しました。看護は人々の健康を維持し、持続可能なその人らしい生活（well-being）を支える素晴らしい職業です。緑豊かなキャンパスで福岡歯科大学、福岡医療短期大学と連携して「口腔から全身の健康」を目指し、人々の健康に寄与できる教育を行っています。私は循環器内科医でもありますので予防医療・看護福祉を繋いで、教育と研究において多職種連携も推進したいと思っています。学生も教職員からも愛される大学となるように努めてまいりますので、どうぞ宜しくお願い申し上げます。

窪田恵子氏が福岡看護大学長退任



窪田恵子氏が令和5年3月31日付けで、任期満了に伴い福岡看護大学長を退任されました。窪田氏は、福岡看護大学設置準備室室長、福岡歯科大学客員教授を経て、2017年4月、福岡看護大学長に就任。その後約8年間、学園の発展に尽力されました。

（メッセージ）2015年4月に福岡看護大学設置準備室長として就任、2017年4月に福岡看護大学初代学長を拝命し6年間に学校法人福岡学園の理念を基に掲げた大学設置計画を教職員一丸となつて大学づくりに尽力して参りました。この間、福岡学園として組織的に全力を挙げてご支援いただきました。8年間の在任期間を何とか責務を全うできましたのも、ひとえに皆様のご支援の賜物と心より感謝申し上げます。新学期の下、福岡学園の二員として福岡看護大学の益々のご発展を心よりお祈りいたします。

福岡医療短期大学長に田口智章氏を再任

福岡医療短期大学長の任期が令和5年3月31日で満了となることに伴い、令和5年2月21日開催の第585回理事会の議を経て、田口智章氏の再任を決定いたしました。任期は令和5年4月1日から令和8年3月31日までとなります。



（略歴）九州大学医学部医学科卒業、同大学院医学研究科修了。医学博士。マックギル大学モントリオール小児病院、ピッツバーグ大学小児病院への留学を経て、2006年（平成18年）九州大学大学院医学研究科小児外科学分野教授に就任。九州大学病院小児医療センター長、九州大学病院総合周産期母子医療センター長、九州大学環境発達医学研究センター長、九州大学病院救命救急センター長・集中治療部長などを歴任。2020年7月福岡医療短期大学長就任。2020年10月常務理事就任。

福岡歯科大学 新役職教員決定

2月21日に開催された第585回理事会において、大学運営の中核を担う役職教員が次の通り決定しました。

【病院長】



坂上 竜資
（歯周病学分野 教授）

【学生部長】



稲井 哲一朗
（機能構造学分野 教授）

【情報図書館長】



大星 博明
（内科学分野・教授）

【口腔・歯学部門長】



城戸 寛史
（口腔インプラント学分野 教授）

【全身管理・医歯学部門長】



池邊 哲郎
（口腔外科学分野 教授）

【社会・基礎医歯学部門長】



日高 真純
（分子機能制御学分野 教授）

福岡看護大学 新役職教員等決定

3月20日に開催された第586回理事会において、大学運営の中核を担う役職教員等が次の通り決定しました。



青木 久恵
(基礎看護学分野 教授)

【基礎基礎看護部門長】



岡田 賢司
(基礎・専門基礎分野 教授)

【情報図書館長】



中島 富有子
(精神看護学分野 教授)

【学生部長】



宮園 真美
(地域・在宅看護部門 教授)

【学部長】



飯野 英親
(小児看護学分野 教授)

【副研究科長】



荒川 満枝
(基礎・専門基礎分野 教授)

【教育支援教学・R室長】



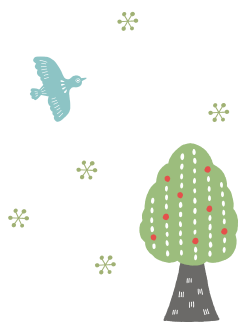
角森 輝美
(地域・在宅看護部門 教授)

【地域在宅看護部門長】



藤岡 奈美
(母性看護学分野 教授)

【健康支援看護部門長】



※【歯科診療部門等】都築尊副病院長、【医科診療部門等】古村南夫副病院長は任期期間中のため継続



中畑 高子
(客員教授)

【診療支援部門担当】



樋口 勝規
(客員教授)

【医療安全危機管理担当】

医科歯科総合病院 副病院長決定

2月21日に開催された第585回理事会において、医科歯科総合病院 副病院長が次の通り決定しました。

福岡医療短期大学 歯科衛生学科長決定

1月26日に開催された第584回理事会において、福岡医療短期大学 歯科衛生学科長が決定しました。



松尾 忠行
(歯科衛生学科 教授)

学校法人福岡学園 新役員紹介

井手孝行前事務局長の後任を石橋 慶憲氏に決定しました。また3月20日開催の第178回評議員会において理事に選任されました。



石橋 慶憲
(事務局長)

学校法人福岡学園 新評議員紹介

3月20日に開催された第586回理事会において、藤木明氏が新評議員に選任されました。
(略歴) 平成2年西南学院大学商学部卒。平成3年学校法人福岡学園入職。福岡歯科大学総務課主任、同大学総務課係長、同大学企画課長補佐、同大学病院事務課長補佐、介護老人保健施設事務課長を歴任。



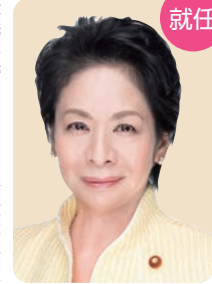
藤木 明
(評議員)



教員紹介

《福岡歯科大学》

●客員教授 比嘉 奈津美



就任

（略歴）福岡歯科大学歯学部卒。参議院議員。なつみ歯科医院開院後、沖縄県歯科医師会副会長、沖縄県歯科医師連盟理事長等を歴任。2012年衆議院議員初当選、2014年に衆議院議員2期目当選。環境大臣政務官、日本歯科医師連盟顧問を経て、2021年に参議院議員当選。2023年4月1日より福岡歯科大学客員教授に就任。

●障害者歯科学分野 教授 森田 浩光



就任

（略歴）九州大学歯学部卒。同大学大学院歯学研究科博士課程修了。日本学術振興会特別研究員（PD・九州大学大学院医学研究院・米國バモント大学医学部。九州大学病院助手、助教、診療講師。福岡歯科大学総合歯科学講座総合歯科学分野准教授、同大学医科歯科総合病院教授、同大学医科歯科総合病院訪問歯科センター長、同大学総合歯科学講座訪問歯科センター教授、同大学総合歯科学講座主任教授を経て、2023年4月1日同大学成長発達歯科学講座障害者歯科学分野教授に就任。博士（歯学）。

●口腔医学研究センター 准教授 飯森 真人



就任

（略歴）鹿児島大学農学部生物環境学科卒。高砂香料工業株式会社総合研究所・研究員。京都大学大学院生命科学研究所博士課程修了。九州大学大学院医学研究科がん分子病態学講座テニカルスタッフ、九州大学先端融合医療レドックスナビ研究拠点特任助教、九州大学大学院医学研究科がん分子病態学講座助教、九州大学大学院薬学研究科がん創薬共同研究部門助教、同部門准教授を経て、2023年4月1日福岡歯科大学口腔医学研究センター准教授に就任。博士（生命科学）。

●機能構造学分野 講師 林 慶和



昇任

（略歴）九州大学歯学部卒。同大学大学院歯学部府博士課程修了。熊本大学国際先端医学研究機構博士研究員、同研究機構特任助教、福岡歯科大学機能構造学分野助教を経て、2023年2月1日、同分野講師に昇任。博士（歯学）。

●口腔健康科学分野 講師 内藤 麻利江



昇任

（略歴）福岡歯科大学歯学部卒。同大学大学院歯学研究科歯学専攻博士課程修了。日本学術振興会特別研究員DC2。同大学診断・全身管理学講座画像診断学分野医員。同大学口腔健康科学分野助教を経て、2023年2月1日、同分野講師に昇任。博士（歯学）。

●総合歯科学分野 講師 佐藤 絢子



就任

（略歴）福岡歯科大学歯学部卒。長崎大学病院医療教育開発センター臨床研修歯科医。福岡歯科大学大学院歯学研究科歯学専攻博士課程修了。福岡歯科大学口腔修復学講座口腔インフラント学分野助教、医員を経て、2023年3月1日、総合歯科学分野講師に就任。博士（歯学）。

●生体工学分野 講師 梶本 昇



昇任

（略歴）岡山大学工学部生物機能工学科卒。徳島大学歯学部歯学科卒。徳島大学病院臨床研修医。徳島大学大学院口腔科学教育部口腔科学専攻博士課程修了。福岡歯科大学歯科医療工学講座生体工学分野助教を経て、2023年4月1日、同分野講師に昇任。博士（歯学）。

《福岡看護大学》

●基礎・専門基礎分野 教授 得能 智武



就任

（略歴）九州大学医学部卒。同大学大学院医学系研究科修了。松山赤十字病院循環器内科米國六（バード）大学医学部研究員。佐賀県立病院好生館循環器科医長。九州大学病院循環器内科医員。九州大学大学院医学研究科先端循環制御学講座助教、九州大学循環器病未来医療研究センター講師、九州大学病院別府病院慢性疾患診療部診療講師、同大学病院内科講師を経て、2023年4月1日福岡看護大学基礎・専門基礎分野教授に就任。博士（医学）。

●基礎・専門基礎分野 教授 荒川 満枝



就任

（略歴）九州大学理学部生物学科卒。大分医科大学医学部看護学科卒。大分大学大学院医学研究科社会環境専攻博士課程修了。九州大学医学部附属病院集中治療部大分医科大学医学部看護学科地域老年看護学講座助手。兵庫県立大学看護学部実践基礎看護学講座看護病態学講師。大分大学医学部看護学講座同大学医学部看護学講座看護学講座鳥取看護大学看護学部看護学教授、同大学大学院看護学研究科教授を経て、2023年4月1日福岡看護大学基礎・専門基礎分野教授に就任。博士（医学）。

《福岡医療短期大学》

●歯科衛生学科 教授 後藤 加寿子



昇任

（略歴）福岡歯科大学歯学部卒。九州大学大学院歯学部歯学専攻博士課程修了。福岡歯科大学附属病院医員（補綴入れ歯科）。同大学助教（咬合修復学講座）。福岡医療短大歯科衛生学科准教授を経て、2023年1月1日福岡医療短期大学歯科衛生学科教授に就任。博士（歯学）。

客員教員・臨床教員紹介

○客員教授

【再任】

樋口 勝規 (元九州大病院・周術期口腔ケアセンター長／周術期支援センター副センター長)

中畑 高子 (公立学校共済組合本部・看護部アドバイザー)

平田 雅人 (元九州大学大学院・歯学研究科長／歯学部長)

中川 美和 (元米国クリブランドクリニック・ラーナー研究所 研究員)

湯浅 賢治 (元福岡歯科大学画像診断学分野・教授)

○客員准教授

奥田 貫介 (おくだ総合法律事務所・弁護士)

○臨床教授

【再任】

上田 秀朗 (うへだ歯科医院 院長)

白井 義英 (白井歯科 院長)

本村 春彦 (医療法人永寿会川添記念病院 医師)

二木 寿子 (国家公務員共済組合第1病院 非常勤歯科医師)

平塚 正雄 (沖縄県立総合医療センター 診療部長)

佐藤 路子 (福岡歯科大学 非常勤講師)

中牟田 博敬 (熊本大学医学部 臨床教授)

春名 千英子 (福岡歯科大学 非常勤講師)

徳永 哲彦 (医療法人フロンティア徳永歯科クリニック 院長)

松永 興昌 (松永歯科クリニック 院長)

土屋 嘉都彦 (土屋デンタルクリニック大分オフィス 院長)

中 四良 (中歯科医院 院長)

○臨床准教授

【再任】

中島 稔博 (なかしま歯科クリニック 院長)

榊 恭範 (医療法人榊歯科医院 さかきデンタルオフィス 院長)

岡野 慎士 (長崎大学病院 病理診断科 病理部 教授)

高橋 康一 (邦生会高山泌尿器科 月の浦クリニック 院長)

前原 喜彦 (公立学校共済組合九州中央病院 院長)

松本 拓也 (国立病院機構福岡東医療センター 血管外科部長)

尾崎 正雄 (元福岡歯科大学 小児歯科学分野 教授)

山本 卓明 (福岡大学医学部 整形外科 教授)

比嘉 奈津美 (参議院議員)

小柳 進祐 (小柳歯科医院 院長)

川崎 俊明 (川崎歯科医院 院長)

吉永 陽一 (くば小児歯科医院 院長)

石井 香 (医療法人いしかわ小児歯科 理事長)

荒川 周幸 (あらかわ歯科矯正歯科クリニック 院長)

中村 芳明 (天分県済生会日田病院 歯科口腔外科部長)

米津 康一 (福岡歯科大学 画像診断学分野 講師)

三輪 邦弘 (元福岡歯科大学 副院長)

洪田 健二 (ふた乳腺クリニック 院長)

和田 寛也 (ちくし那珂川病院 副院長)

江崎 和久 (睡眠科学研究所 江崎歯科内科医院 院長)

大野 知子 (ツインクル歯科クリニック 院長)

久保 至誠 (元長崎大学大学院 歯学総合研究科 歯科補綴学分野 保存修復学部門 准教授)

村上 大森 (むらかみひろし歯科医院 院長)

桂 弘二 (大森歯科医院・インプラント・口腔外科 院長)

瀬々 良介 (伊東歯科口腔病院・画像診断部部長)

定年を迎えて

《福岡歯科大学》

●障害者歯科学分野 教授 小島 寛

2005年4月に本学成長発達歯学講座障害者歯科学分野の教授として採用していただきました。口腔医学の学問体系の確立を目指して2008年度から始まった10年間にわたる大学間連携事業が強く印象に残っています。これまでのみなさまのご指導とご鞭撻、ご支援とご協力に深く感謝申し上げますとともに学園の益々のご発展を祈念いたします。

●口腔医学研究センター 教授 大野 純

2001年4月から22年間、病態構造学分野、再生医学研究センターおよび口腔医学研究センターで教育、病理診断および研究活動に従事させていただきました。お世話になった皆様にお礼を申し上げます。また、多くの大学院生と研究できたことは私のかけがえない宝物です。学園の益々のご発展をお祈り致します。

●細胞生理学分野 准教授 岡本 富士雄

1981年12月、細胞生理学分野(旧口腔生理学教室)の助手に採用され、以来41年「難しいことを易しく、易しいことを深く」をモットーに教育研究に邁進してまいりました。大過なく定年を迎えることができましたのも皆様のご指導、ご支援の賜物と只々感謝の気持ちでいっぱいです。学園の躍進を心からお祈り申し上げます。

田代 英雄元理事がご逝去

学校法人福岡学園元理事・評議員の田代 英雄氏が令和5年1月17日に逝去されました。同氏は、平成6年に本学園理事に着任され、約20年間にわたり理事および評議員として学園の発展に尽力されました。享年92歳。謹んでご冥福をお祈りいたします。



充実した日々、いろいろ。学園の様々な出来事をピックアップしてご紹介！

EVENTS RECORD

【イベントレコード】

2023年2月

- 10日 第109回保健師国家試験
- 12日 第112回看護師国家試験
- 14日 共用試験CBT
- 19日 共用試験OSCE

2023年3月

- 5日 第32回歯科衛生士国家試験
- 9日 卒業式
- 10日 卒業式
- 11日 卒業式
- 12日 口腔介護スキルアップ講座
- 16日 第116回歯科医師国家試験合格発表
- 24日 第32回歯科衛生士国家試験合格発表
第109回保健師国家試験合格発表
第112回看護師国家試験合格発表
- 3月期オープンキャンパス

2023年4月

- 4日 入学式
- 6日 入学式
- 7日 入学式

EVENTS CALENDAR

【イベントカレンダー(今後の予定)】

2023年6月

- 18日 同窓生ご子息・ご息女対象
オープンキャンパス

2023年7月

- 8日 7月期オープンキャンパス
- 29日 オープンキャンパス
- 30日 オープンキャンパス

※新型コロナウイルスの影響により、変更になる場合もございます。

福岡歯科大学 福岡看護大学 福岡医療短期大学



お花見(ぺんぎん保育園)



サンシャインシティ豆まき



歯科医師臨床研修開始式



歯科医師臨床研修修了証授与式

医科歯科総合病院の看護部において、 臨床看護研究コース(基礎編)中間発表会を 開催しました

医科歯科総合病院の看護部では、2022年度から研究的視点や科学的思考を持ち、看護実践における課題を研究的に探求する能力を高めることを目的に、臨床看護研究コースを開講しました。

基礎編(1年)・実践編(1年)の計2年間のプログラムで、福岡看護大学と看護部が共同で企画・運営を行い、講義・研究指導を福岡看護大学の宮園真美教授(地域・在宅看護部門)と秋永和之講師(健康支援看護部門)が担当しています。

2022年度は、看護師3名が「臨床看護研究コース(基礎編)」を受講し、2月14日に1年間の学びや研究テーマと研究計画などを発表しました。発表を聞いた看護師からは、「看護研究に興味があった」「発表を聞いてモチベーションが上がった!」「今後、自分の研究にも活かして頑張りたい」などの感想が聞かれました。受講者は今後、学会発表・論文投稿を目指していきます。



看護大学 だより

#24

新しい学び・人・キャンパス
福岡看護大学の魅力を
ご紹介します！



第3期生 田川 愛実・戸崎 日菜

国試対策研究会という結成3年目のサークルをご紹介します。私たちがこのサークルに入ってきたきっかけは、サークル副顧問でもあるチューター教員からの勧誘で、最初は友達もメンバーだからという興味本位でした。実際の活動は、サークル名から受ける印象とは違って堅苦しいことは何もなく、皆で和気あいあいの活動で、時には勉強はせず、ただお話だけをするような回もあったりしてとても楽しい時間になっていました。

具体的な活動内容としては、疾病について学習したり、国家試験過去問の解説を作ったり、時には発表会なども行っています。この活動では、「なぜそうなるのか」という根拠を大切に学習することで、暗記だけの学習ではなく、知識と知識をつなげて学習できるため、実際に臨地実習にも活かせる知識や国家試験に使える知識を定着させることができます。

このサークルの最大のメリットともいえるのが、先輩後輩との繋がりがあることです。先輩方から臨地実習について、アドバイスや乗り越え方を伝授していただき、頑張ろうと思うことができました。他にも、定期試験の勉強のポイントが聞けたり、授業で出される課題へのアドバイスを受けるなど、他学年と交流できる機会があるというのはとても良いところだと思います。私たちにとつては、このサークルで、皆で勉強したところが今年受験した国家試験や採用試験で出たのでとてもラッキーでした！他の人の勉強の仕方わかって参考になり、楽しく学べるとても良いサークル活動ができたなと感じています。

皆さんも、ぜひ、参加してみませんか？



短大 VOICES

#24

夢を叶える場所
「福岡医療短期大学」
多くの出会い・絆を育んでいる
短大の情報をお届け！

福岡医療短期大学
22期生

中川 綾華

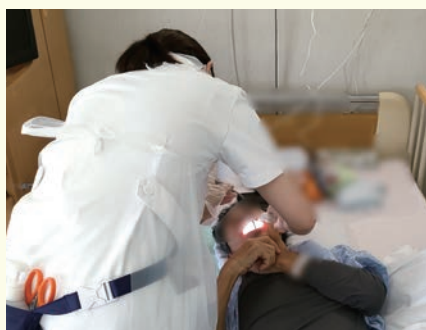


私は福岡医療短期大学歯科衛生学科を令和3年に卒業（22期生）後、専攻科へ進学、口腔外科を専攻し、現在は独立行政法人国立病院機構九州医療センターの歯科口腔外科に勤務しています。

業務としては、処置の準備や補助、再来および入院患者さんの口腔衛生管理を行っています。また、NST（栄養サポートチーム）の一員として口腔ケアの重要性を伝えたり、育児支援学級で0〜1歳児をもつ親御さんに対して、お口の発達やケアの仕方などを伝えたりしています。

近年、日本の死因率は肺炎及び誤嚥性肺炎が上昇傾向にあり、予防として口腔ケアが重要視されています。私は患者さん個人に合わせた最善の介入を行えるよう、先生方や多職種と連携しながら日々努めています。また歯科衛生士として口腔ケアのプラクティスとなるよう、資格の取得へも励んでいます。

今後も知識や技術を磨き、患者さんのQOLを支援し快適な生活を送っていただけるよう、邁進していきます。



学生からのメッセージ

芸術祭を行って感じたこと

石井 凜々香

福岡看護大学 第3学年

こんにちは、福岡看護大学で総務委員長をさせていただいています石井凜々香です。

芸術祭を初めて行うということで、学生部長である中島先生を含め学友会顧問である先生方・学年委員長・芸術サークルの方と「学生が主体となり楽しんでもらう」をテーマのもと芸術祭の運営を計画しました。芸術祭を行うにあたり一番悩んだことは、先生方を含め全学年の生徒が楽しんでもくれるかということでした。そのためたくさん学年委員長と相談を行い、イベント内容の企画からスケジュールの管理等を行いました。迎えた当日は不安から始まりましたが、たくさんさんの笑顔を見ることができ最後には参加してくれた方々から「芸術祭、すごく楽しかった」と言ってもらえて良かったです。芸術祭を振り返って感じることとは、行事の運営の難しさと先生方をはじめ同級生・先輩・後輩の協力のありがたさです。また次の芸術祭では昨年度以上に満足していただけのものにできるような努力致します。最後にコロナ禍での芸術祭の実施をさせていただき、本当にありがとうございました。



保護者からのメッセージ

夢に向かって

岡田 正明

新型コロナウイルスも5月には2類相当から5類への見直しが決まり、だんだんとウィズコロナに向かつて、一人ひとりが自ら考えて行動し、問題を解決し前向きに生活していくことが必要となってきています。学生の皆さんは、夢を持って入学して来られたと思いますが、休校やオンライン授業、部活動その他の中止など、思ったような学生生活は送れてこれなかったことでしょうか、少し先が見えてきたと感じておられるのではないのでしょうか。



私は、大きな夢をつかむためには、それまでに小さな夢を少しずつ達成していき、最終的に大きな夢へとつなげていくことが重要だと思っています。

この執筆時にちょうどWBC一次ラウンドが開催されており、日本チームの活躍、特に、ノットバー選手のひたむきで真摯な行動、態度に賞賛の聲があがっています。彼も小さな夢を達成することを積み重ね、大きな夢を手に入れました。そして、今後もっと大きな夢へと挑戦し続けることでしょう。

皆さんにも是非何事にも全力で取り組んで、その先の大きな夢を手に入れて欲しいと願っております。

大丈夫です。追いかけて続ける勇氣さえあれば、夢は必ず叶います。

編集後記

木々の緑が日に日に鮮やかになってきました。学園も新年度がスタートし、キャンパスではフレッシュな顔ぶれが新たなスタートを切りました。本号では卒業・修了式や、4年ぶりにコロナ禍前と同じように保護者やご家族の出席が認められた入学式の様子とともに、種々の話題を掲載しています。ゆっくりとお楽しみいただければ幸いです。

中学3年生の4月下旬。クラス替えを経てようやくみんなの様子がわかってきた頃の放課後、クラスのマドンナの存在の女の子と何かの拍子に百人首の話をした。「好きな歌はどれ？」と聞かれて返答に戸惑っていると、「私はこれ」と教えてくれたのが「逢ひ見ての後の心にくらげれば」。深い意味はなかったと思うが、忘れられない。

5月にはそのマドンナと校庭の草取りで一緒になった。小さな花を指して、この花は大好きだから抜けないという。それが「ワゼキシヨウ（庭石菖 Sisyrrinchium rosulatum）。5〜6月頃に草地に群生して薄紅色の小さな花を咲かせるアヤメ科の一年草。スックと延びた茎の先端の一輪の可憐な花が、姿勢のよい彼女の姿に重なった。

マドンナは違う高校に進学し、その後会うこともなかったが、今でもワゼキシヨウを見ると彼女のことを思い出す。そして、カルタ取りでは「昔はものを思はざりけり」を最初に探してしまう。

(内藤 徹)



New Sophia
コラム

庭石菖

Open Campus

福岡看護大学



オープンキャンパス開催のお知らせ



福岡医療短期大学



福岡歯科大学



福岡歯科大学・福岡看護大学・福岡医療短期大学

2023年度オープンキャンパス開催日決定!

入学希望者をはじめ、そのご家族や高校・予備校の先生方を対象としたオープンキャンパスを右記の日程で開催いたします。お気軽にご参加ください。

開催校	実施日
福岡歯科大学	7月29日(土)・10月14日(土)
福岡看護大学	7月30日(日)・8月5日(土)・8月19日(土)
福岡医療短期大学	7月8日(土)・7月29日(土)・8月18日(金) 9月16日(土)・10月14日(土)・11月3日(金・祝) 12月16日(土) 2024年1月27日(土)・2024年3月22日(金)



「学校法人福岡学園・福岡歯科大学創立50周年記念募金」実績報告

2018年7月から開始しました「学校法人福岡学園・福岡歯科大学創立50周年記念募金」は、2023年3月31日をもって募集期間を終え、寄付金の拝受を終了いたしました。皆様よりいただいた寄付金は、50周年記念事業の一環として進めてきた「50周年記念講堂」(2022年7月完成)の建築費の一部に充当させていただきました。ご寄付いただきました個人・法人の皆様には厚く御礼申し上げます。

●募金実績額(2018年7月1日～2023年3月31日ご寄付分)

合計 1,014件 109,113,000円

学校法人福岡学園・福岡歯科大学創立50周年記念募金について

お問合せ先

学校法人福岡学園 財務課
TEL:092-801-0416(直通) FAX:092-801-4909 E-mail:zaimu@fdcn.ac.jp